

## ～ひきこもり整体師のひとりごと～

令和5年10月第24回

### 自己紹介:楠永洋介

小学校3～4年を不登校、次いで中学校1年2学期～2年生を不登校、義務教育期間中は正味5年程しか登校していません。定時制高校を卒業後、進学、卒業を拒否して祖父の遺したお金でネットスクールや、ワークショップ、FXなどを経験してお金を溶かしました。なんやかんやあって結婚後、2人の子供を授かる。現在、農業、整体業、塾講師等で生計を立てる。

ようやく秋めき始めた10月、皆様いかがお過ごしでしょうか？こちら毎日忙しく、10月には地域共生社会フェスタの分科会や高知城での農村歌舞伎のお手伝いなど、節操なくやっております。

まず地域共生社会フェスタ分科会についてですが、10月7日(土)13:00より追手前高校芸術ホールにて千原ジュニア氏と濱田知事が何やらお話するみたいです。自分が依頼されたのはその後の15:30分科会です。県も広報に力を入れておられるようで、ずいぶんご無沙汰だった友人から「聞きに行くよ」という連絡を貰いました。彼も面白い人物でとんでもない読書家だったように思う。バイト先の歳下先輩だったが、僅かな隙間を見つけては文庫本を開き、パタンと閉じて颯爽と仕事に戻るリズムは今でも覚えている。彼に読書の頻度とかを尋ねた事があるけど、実家のじいさんの蔵の床が本の重みで抜けたとか、抜けないとかいう話を聞いて苦笑した。彼が話した言葉で覚えているのは、僕が西畑人形芝居保存会に所属している。という話をしたとき、「保存活動しなければ残らない文化を保存する意味って何？」と言われて、当時の僕は内心カチンときつつ、うまく答える事が出来なかった。ここだけ切り取ると、彼はなんだか冷たい人間だと思われそうだが僕自身が彼に持つ印象は逆で、正直者で賢い人だなあ。と思えた。たいていの人は「スゴイですねー」、「立派ですねー」とか当たり障りの無い返答がくるものだけど、彼はちゃんと自分で考えて自分の言葉で話していたように思ったからだ。

今となっては、彼が言っていた事は間違いではないと思うし、自分が保存会に関わっているのも、あくまで自分が楽しいから。と思えるようになった。

話が逸れてしまったのでもとに戻ると、地域共生社会フェスタでどんな話をしよう。今も特に決めていない。千原ジュニア氏の対談を聞いて思った事を話そうと思っている。うーむ。地域、共生、社会、とキーワードを洗っていくと、今日兄貴と話した話を思い出す。兄は韓氏意拳の高知稽古会に参加したりしている。すると、よく武術って～とか、人間生活って～という話になる。

前提、武術って倫理や道德、律令を採用してない可能性が大きい。ホントの殺し合いになった時、そういう「常識」めいた考えに囚われれば読みやすい。だとして。

次に、我々が人間生活、人間社会をやっていくには、倫理、道德、律令の理解は必要不可欠である。こういう理解が進むのをここでは「発達」と呼ぼう。例えば僕の話で言うと、ある日打ち合わせで、県の職員の方と話していたのだけど、まあ、僕はおしゃべりヤローなので興が乗れば2時間位平気で話したりする。その打ち合わせも例に漏れず話をしていた。「地域は～」とかそんな話。10:00から始めた打ち合わせはもう12:00が迫ろうとしていた。(もちろん大半は僕が喋っていた)職員の方が「楠永さん。お時間大丈夫ですか？」と言ってきた。その日は午前中は仕事を休んでいたのだから、僕は間髪入れず「大丈夫です！(ニコッ)」と笑顔で返す。そして打ち合わせも終わって家に帰る道すがら、あれは「もう解散にしませんか？」という意味だったと気

づいた。空気を読む為には色んな事を理解しないとイケない。僕はまた1つ発達の手掛かりを見つける。

武術の世界はこういう空気を読むというか、人間の身体的な能力を見つめていくと、「人間」とは？なんだろう？という問いにいずれぶつかると見える。そう思うと「人間」というのは後天性能力で、その修得具合や修得に掛かる時間も人それぞれだろう。そうしていつの間にか身につけた「人間」というタグを外す。とは言わないけど、理解していくのが武術なのかも知れない。つまりは「逆の発達」なのかもしれない。しかし、「倫理、道徳、律令」から「人間」を学べるヒトも居るし、「逆の発達」から「人間」を学ぶしかないヒトも居ると今は思う。振り返れば、僕の家族は皆「人間」が下手だったように思う。だから今思えば笑い話だ。ただその時は地獄だったりしたけど。

10月8日には土佐の伝統芸能まつりで八代農村歌舞伎をお手伝いさせていただきます。先日初めて合同のお稽古をしたのだけど、いつもは本番日に綺麗に化粧された八代の舞台を見ていたけれど、オレンジ色の電球に照らされた暗闇に浮かぶ素っぴんの八代の舞台は本当に美しかった。大きな梁も、柱も、左右に一本ずつ設えられた少し曲がった小さな梁は美しく、これを修復できる方が今の時代にどれ程居るのだろうか？と優しく木を撫ぜた。

また話がそれました。今こうして文字にしていくと、また1つ分かった事がある。舞台の稽古。「人間」をやるのが下手な僕が、キチンとリズムよく打楽器を叩いていけば「仲間」として、「人間」として認められる気がしている。だから好きなのかも知れない。地域活動が。バックボーンもそれほど重要じゃない。重要なのはその舞台や、お祭りへの思いだったり、上手な演技、演奏だったり。それさえあれば、愛想がなくても、要領が悪くても、仲間に入れてくれるそんなものが地域活動、伝統文化じゃないかな？と今思いつつ活動している。

というわけというか、なんというか。10月7日、8日は忙しくさせていただきます。ご縁がある方は是非お越しく下さい。きっと楽しいものになると思います。

## 御案内

感想、質問頂けると励みになります。また仕事の依頼（整体等）頂けると生きる糧になります。整体に関してはホームページ等覗いて見てください。

### 緑陰整体指導研究室

ホームページ

<https://ryokuinseitai.business.site/>

ご意見、ご感想、ご依頼は下記にお願いいたします。

電話番号

090-4979-6409

メールアドレス

[ryokuin.seitai@gmail.com](mailto:ryokuin.seitai@gmail.com)